



令和7年7月1日

じめじめとした暑い日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱいに遊んでいます。

晴れ間は戸外に出て散歩に行きました。お座りが出来るようになった子はベビーカーから4人乗りの散歩カーへ、つかまり立ちや歩行が出来るようになった子は散歩カーから立って乗るサークルへと乗り物が変わり、子どもたちも嬉しそうに周囲を見渡したり、手を伸ばして自然物に触れたりしています。公園では歩行が出来る子は保育者と手をつないで歩いたり、抱っこをしながら探索を楽しみました。葉や砂などの自然物や遊具など、いろいろな物に興味を示し、高月齢児は葉っぱを見つけては「はっぱ!」「っぱ!」と言葉にして伝えたり、遊具を指差しして遊びたいと訴えています。低月齢児は、喃語を話したり、保育者と一緒に自然物に触れ、感触を楽しみながら遊んでいます。

室内では、片栗粉や米粉粘土、絵の具などの感触遊びを取り入れていきました。はじめての感触に戸惑う姿も見られましたが、保育者が触れている姿を見せることで興味を示して手を伸ばす姿も見られています。

引き続き感触遊びを取り入れたり、温水遊びを行っていき、この時期ならではの遊びを無理なく進めていけたらと思います。



○今月のねらい

- ・水や温水で遊ぶ。
- ・こまめな水分補給や着替えを行い快適に過ごす。

○活動内容

- ・温水遊び ・感触遊び
- ・散歩

～絵本を見てるよ～

食事の前に、絵本を見る時間を作っています。子どもたちは、絵本を見るのが好きで、保育者が読んでいるとじっとその様子を見たり、出てくるものと同じ動きをしながら最後まで興味を持って見ています。ここで、絵本の読み聞かせの効果について紹介します。

1. 親子の豊かな心の触れ合いが出来ます。
2. 子どもの心が豊かに育ちます。
3. 子どもの言葉が育ちます。
4. 人の話を聞く力が育ちます。
5. 読書の習慣がつきます。

幼い頃にしてもらった読み聞かせは、親子で共有した大切な場や時間。大人になっても記憶に残るものになります。今の時期だからこそ、親子の絆を深めていけたらと思います。